

とし復歸のりより十日分とすしと述ぶ立會人石山等々の  
の両方より職工代表者等對して市議継続の不利を説  
き市交渉は保留することとし午後五時會見を終る  
職工側は於ては目入會社と交渉中の條件には條件容  
認することは出来ない云々のらん依て解決するより外他  
市法並にこれを以て益と結末を因ふることを約し次の如  
折衷約を決議す

其の事は今回の階級の本市議を裏切り無産階級迄  
徳を蹂躪する輩の徹底的撲滅を期す

右折衷約す

十一日 就業職工教

市石二文

十一日

九月の工業俱樂部に於てガイヤモンド重役石山等々の  
の獨停のえん最後折衝の結果両者の間に協成三  
次の如き覺書を作成職工代表は之を一般職工に報  
告會社側は重役と協議の上各承認を得て十九日  
乙午覺書に封印して市議解決を見る運ぶとな  
り居たうしが職工側は覺書を以て大成功なりと歡  
喜し市議團の内十七八名は十八日夕刻精美堂に於て  
從業職工に向い今迄の是れ是れ違が化るん様事しこのりか  
日の市議團の職工と位置を換之云々が仕事をすると示  
的宣傳を為しえん又市議職工は不安を感ず尚復職  
當時の去及事務の言分と相違あるん憤慨し職工長以下